

～第12回島崎藤村記念文芸祭 入賞作品の紹介～

問 文化振興課 (☎内線4318)

過去最高の応募者数、応募作品の中から、次の作品が入賞しました。たくさんのご応募ありがとうございました。また各部門の佳作を含めた作品の数々は文化振興課で販売している「第12回島崎藤村記念文芸祭 入賞・入選作品集」で読むことができます (1冊500円)。(敬称略)

かやの木

俳句・短歌のルビは文化振興課で付しています。

俳壇・歌壇

応募作品数

【現代詩部門】	一般の部：112編	小中学生の部：98編
【短歌部門】	一般の部：247首	小中学生の部：230首
【俳句部門】	一般の部：727句	小中学生の部：470句
【エッセイ部門】	一般の部：95作品	小中学生の部：1作品
【創作部門】	一般の部：65作品	

俳句部門 福井 英敏 選

特選	夫婦箸箱に寝かせて十三夜	阿部 廣美(静岡県)
一席	口笛を五月の山に向いて吹く	吉川 太郎(京都府)
二席	木の実落つ山の命の弾む音	加藤 芳子(多治見市)
三席	農を継ぎ無口も継ぎて春田打つ	川野 忠夫(群馬県)
【小中学生の部】		
特選	失敗のケーキのように日やけて	上田 紗空(苗木小)
一席	かごしよっておじいちゃんとする朝のなす	島崎 心暖(加子母中)
二席	ありがとう伝えられずに春近し	丹羽 美友(付知中)
三席	ゆきだるまわっせわっせとつくつたよ	原 琉弦(神坂小)

短歌部門 大塚 寅彦 選

【一般の部】		
特選	流れ星届けば返す三日月を夜のメールのおやすみ絵文字	石田永美子(恵那市)
一席	さざ波を照らす月夜の潮騒は幼き頃の夢の入り口	田中 俊行(三重県)
二席	万岳荘の槽にあふるる山清水とまと胡瓜が鮮やかに浮く	藤井 勝子(中津川市)
三席	農政は改革しますと候補者の振る白き手に土は匂わず	不破よね子(中津川市)
【小中学生の部】		
特選	平成は思い出いつぱいつまってる自分が生まれ今生きてるとき	三尾 彩寧(付知中)
一席	新時代周りのものがロボットにそんなのだめだ自分で動け	前川乃佳(付知中)
二席	授業中うるさいほどに鳴り響く木にとまってる小さな楽器	曾我 美桜(落合中)
三席	夏の夜木々がゆらめく森の中静かにさわぐ秘密の祭	酒井 天太(福岡中)

創作部門

大島 一洋 選

【一般の部】		
一席	雪を施す男	林 晋作(和歌山県)
二席	海と歌に捧げる	瀬戸岡篤樹(佐賀県)
三席	櫂の伐られた日	堀野 慎吉(関市)

エッセイ部門

吉村 登 選

【一般の部】		
特選	生きる	榎並 掬水(広島県)
一席	ソバ団子	後藤 順(岐阜市)
二席	季節の手触り	佐々木 凌(岐阜市)
三席	母のクチナシを	前田佳代子(愛知県)

現代詩部門

伊藤 芳博 選

【一般の部】		
一席	300日	藤野 絢子(千葉県)
二席	古墳から吹く風	戸田 和樹(京都府)
三席	プール	サラ・カイリイ(福岡県)
【小中学生の部】		
一席	雑草	吉村 果恵(福岡中)
二席	未来	山室 音逢(坂下中)
三席	早ぼんのホタル	相場 響(西小)